



16

旧東海道金谷坂石畳

かなやさか

●ふるさとの風景にときこむ道



DATA・BOARD ⑬

- ①静岡県榛原郡金谷町坂町地内
- ②延長：430m，平均幅員：3.5m
- ③植栽，案内板
- ④町民が集めた山石71,000個
- ⑤六・弐寺 通りやんせ



金谷町では、江戸時代に東海道二十四番目の宿場町として栄えた歴史を素材に東海道金谷宿街道まちづくり事業構想を策定した。「旧東海道金谷坂石畳」は町民共有の歴史的財産を町民の手で復元し、後世に残していくことを目的としたものである。

復元にあたっては、石畳の素材となる山石を確保する段階から、町民一人一石運動が展開され、約七万個の石が集められた。工事も平成三年十一月に平成の道普請と銘打ち、六〇〇名の町民参加によって始まり、翌平成四年三月に中学生による卒業記念道普請によって完成した。

石畳周辺は修景事業も施され、沿道に山野草の植栽や案内板の設置もされており、江戸時代の街道の様子を素材にしたイベントも開催された。